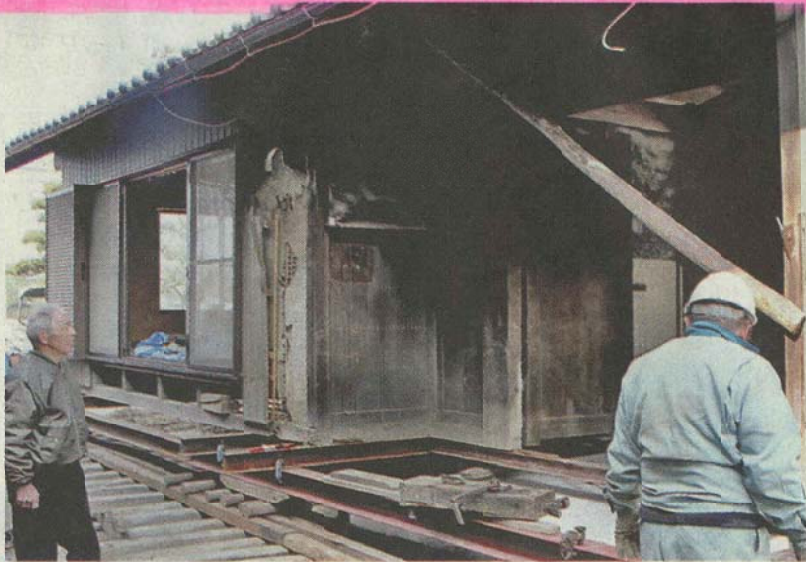


昭和初期の建物「壊すのもったいない」



ゆっくりと移動する長屋門を見守る竹田さん(左)―美和町花正郷中で

美和町花正郷中の農業竹田順二さん(左)も方で、昭和初期に建てられた「長屋門」の曳き家が進められている。建物を解体せずに移動させる作業で、特殊なジャッキで持ち上げ、木製のころを設置。四駆車のウインチで引っ張り、ゆっくりと動かしている。

長屋門は竹田さんの父、円さん(故人)が一九三六年に建てた。一つの屋根の下に、門と十畳の部屋がつながっている。中学、高校時代に勉強部屋として使っていた竹田さんにとって、

美和の竹田さん方 引っ張って12ト移動

思い入れの深い建物だ。これまで立っていた土地を売ることになり、竹田さんが「壊すのもったいない」と、敷地内で十二ト移動し、残すことにした。

曳き家は名古屋市中川区の田島工務店が担当し、今月中旬に移動を開始。現場監督の田島基博さん(三三)によると、長屋門は昭和初期ごろ、大きな農家の屋敷などで見られたが、現在も残るのは珍しく、「古い建物を後世に残すことは大事」と、作業に力を入れる。二十六日ごろ終える予定。(稲垣時太郎)

「長屋門」そりり曳き家

児童と保護者が薬物の怖さ学ぶ

倉L C 止教室

南保健所職員の話で、物の恐ろしさを演技でシンナーや覚せい剤、伝えていた。(小蔵裕)

この後、児童らは二十八グループに分か

に、国を紹介した。国を介した。小栗さんは「意味を考えるこの国を理解するつながる」と話した。

稲沢の祭り オリジナル

きよつから 国府宮はだか稲沢市の祭りやトを題材にしたナル切手シートツピーが夢先案が二十五日から地方の郵便局で

二十四日は稲所で、郵便局会支社の武富靖直

